



国際ロータリー第2590地区 川崎百合丘ロータリークラブ

# Weekly Report

2013～2014年度

平成26年1月21日(火)  
第1706回例会

会長 小塚 良雄  
幹事 中村 和広  
会報 中村 和広



作者の言葉  
我々の百合丘ロータリー  
のシンボルは、百合の花。花は  
地味には有り様だが、花言葉は  
「多幸、上品、純潔」である。こ  
ろから、我々の活動により、花  
の言葉が、心に残る。そして、  
それが、初歩として、  
ちとと、取り進める。  
心、花に、その香りを  
清く、風にならせよう。  
清純な、乙女を感じ  
させよう。と、ある。  
昭和五十五年春、さし  
大友 良

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1706回例会記録 平成26年1月21日(火) 27/46回

<点鐘> 小塚会長

<ソング> 我等の生業

<会長報告> 小塚会長

1. 【再】「意義のある業績賞」候補プロジェクト募集の案内
2. 国際ロータリー第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナーの案内  
3/19(水)10:00～16:00 ホテルオークラ東京別館 B2F
3. 第46回インターアクト年次大会及びローターアクト主催インターアクト卒業式開催の件  
3/29(土)9:00～16:30 捜真女学校中学部・高等部チャペル
4. 囲碁同好会より「第15回ロータリー国際囲碁大会」の案内  
4/19(土)17:30 歓迎晩餐会 4/20(日)9:00 対局 台湾・中歴市内の南方荘園渡假飯店
5. 関山会員の奥様の告別式については、ロータリーでできるだけのお手伝いをしたいと思います。ご協力をお願いします。

<幹事報告> 中村幹事

- \*例会変更 川崎とどろきRC 川崎麻生RC  
川崎中RC 川崎マリーンRC
- \*その他 ハイライト米山が届いております。

<ニコニコ委員会> 鈴木清委員

小塚会長→「浅沼会員の卓話、期待とともに楽しんで勉強したいと思います。よろしくお願ひいたします」。中村幹事→「浅沼会員の卓話、よろしくお願ひいたします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤志子会員、浅沼会員、井上久会員、井上勇会員、嶋志田会員、小島会員、中島健児会員、中島眞一会員、野島会員、大矢会員、親松会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、玉井会員、鶴丸会員、渡邊会員、山口会員、結城会員、鈴木清会員。

<出席委員会> 嶋志田委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1706回	37	29	8		78.38%
第1705回	37	29	8	1	81.08%

<ロータリー財団> 野島委員長

浅沼会員から頂きました。  
木庭会員からポリオプラスを頂きました。

<米山奨学委員会> 赤本委員長

嶋会員→「家内の誕生祝い、ありがとうございます」。

第1708回	2月4日	招聘卓話
第1709回	2月12日	IM
第1710回	2月18日	会員卓話

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	24件	24,000円	680件	747,827円
財団	1件	12,000円	28件	337,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	200,000円
米山	1件	10,000円	23件	338,700円

**本日のプログラム**

<会員卓話>

浅沼会員

新百合ヶ丘で3年3ヶ月在籍しております、銀行内の支店長では最長となっております。異動になる前に、皆様の前でこうして卓話できる機会を頂きましてありがとうございます。

私の趣味の一つが映画鑑賞です。最近ではインターネットを通じて古いものや様々なパンフレットを入手できますが、見た映画のみのパンフレットを買うことにこだわっております。先日の新年会では、大西会員と映画談義に花が咲きました。映画の話なども交えながら経済予測などをお話できればと思います。

年が明けて2014年の経済予測について様々な情報が飛び交っています。メディアに登場しているマーケット予測家や経済評論家の分析はほとんどと言っていいほど当たっていません。かつて私も、マーケットのディーラーとして働いていましたのでよく分かります。今回は、短期ではなく5年10年先の長期のお話をしていきたいと思っております。今回は約30年間の日経平均株価のチャート図を用意しました。2014年の今年は午年です。馬というのは足を上げると、必ず足を降ろすことから、午年の株価は上がって下がるといわれています。現に1990年・2002年の株価も一旦は上がったものの年末に向けて下がっていききました。こういった点からは、年末には下がるのではないかという見方ができます。「2007～8年につけた18,262円が直近10年の高値であることから、18,000円位が一つの見方なのか」といった考え方ができます。このようにチャートからは様々な見方ができます。

株価の見方や為替の変動は、誰も予測が付きません。やはり、それを決めるのは自分しかいません。自分が考えて、買ったり売ったりした時は、リスクやターンがマイルドに済みます。一つの方法として、是非チャート図をみて自分の頭で考えてみてください。上がるのか下がるのかの予測を考えるのは自分ですが、それには判断材料が必要になります。

株価チャートから読み解くのが一般的ですが、もっと身近なものでも材料になります。私が長年見ているものは、不動産関連のチラシと映画の興行収入です。

新聞の不動産関係の折込チラシが多くなると景気が良くなります。不動産は数が限られていますし、人間はより大きい、高い、よいモノを欲します。売り手(販売会社)よりも買い手(消費者側)の心理が大きく関わっていることから敏感に反応するのだと思います。車のチラシというのもあるのですが、流通量の多さと販売店の意向が反映され易いので正確さに若干かけます。それではこの面から見るとどうなのか。昨年の秋頃に比べ現在は若干減ってきているようです。もう一つ私独自の視点では、映画があります。映画には興行収入というものがあります。映画で100億円以上の興行収入を得た作品は27あります。見ていてわかったのですが、150億円以上の興行がある映画が出たときの景気は落ち込み、株価は落ちているのです。このように自分独自の視点を持って法則性を見つけるのは結構面白いです。最近の映画のパンフレットはユニークなモノが増えてきました。ドラマとのタイアップであったり、写真集ようであったり。こういったことは長い間私が映画のパンフレットを買い続けているからわかる変化です。株価も同じです。自分の中で、長くみていくと自分の頭の中にチャートのようなものができて、なんとなく違和感があるようになります。なんとなく不動産のチラシが最近減ったなどか、の「なんとなく」というのが大きなターニングポイントとなります。私が皆さんに覚えてしていただきたいポイントは3つです。

- ①世間一般の経済予測は信じない方がよい
- ②自分の好きな材料を使って、自分で考える
- ③ある一つの銘柄を適度な長いスパンで見続ける

その道のプロや他の人より上に行きたいならば、縦だけでなく横の広がりも大事になります。ご質問がございましたら、銀行までお越しください。お待ちしております。

